

コロナウイルス抗体検査 検査結果目安

IgG、IgMという二つの抗体ができていないか否かを確認する検査。ウイルスPCR検査ではないので、万一陽性の場合も感染者扱いにはなりません。

(隔離や活動履歴の聴取にはならない) かつ個人個人の今後の対策の
かづよい指標となります。

A

IgM (-)

IgG (-)

非感染者または
抗体ができていな
い (偽陰性率も
数%あり)



B

IgM (+)

IgG (-)

感染能力ありの
可能性が否定で
きない (偽陽性
率10%程度あ
り)



C

IgM (-)

IgG (+)

人に感染させる
可能性は低い、
かつ感染しにくい
(過去に感染し
た可能性有り)



D

IgM (+)

IgG (+)

治りかけの可能
性があり、Bより
感染の可能性は
低い (疑陽性率
10%程度あり)



※対照線 (C) が発色しなかった場合。多くは、検体の不足、または間違った手順で検査を行なった場合に見られます。手順の再確認し、新しいキットで再検査が必要となります。